

## 革新的地球センサ・スタートラッカーが 定常運用フェーズへ移行

～初期動作確認が完了し、本格的な軌道実証を開始～

株式会社天の技（読み：あまのぎ、本社：東京都大田区、社長：工藤裕）は、「革新的衛星技術実証1号機」に搭載された「深層学習を応用した革新的地球センサ・スタートラッカー（以下DLAS、ディーラス）」が初期運用フェーズから定常運用フェーズに移行したことをお知らせします。

弊社は、このスタートラッカーの開発に際し、技術支援を行ってきました。今回、初期運用フェーズから定常運用フェーズに移行し、軌道上でアルゴリズムの検証・最適化を行うと共に、天の技は実用モデルの製品化を進めていきます。市場への提供は、2020年中に開始する予定です。\*スタートラッカー：星の位置を観測し、衛星の位置・姿勢を計算するデバイスのことで、全ての衛星に必要不可欠かつ最も重要な部品の一つ

### ■株式会社天の技について

月面探査プロジェクト「HAKUTO」の月面ローバにおけるカメラ及びCPUボード開発責任者を務めた工藤裕が、2017年に独立・創業。超小型衛星開発の先駆者の一人である谷津(東工大)の参画ののち、2018年に開発資金として5000万円を資金調達。先進的な取り組みが認められ文科省の新宇宙産業創出事業に採択されると共に、NEDOによる「宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業」に採択され、現在商品化に向けた開発を加速させている。現在、技術者15人体制で高精度衛星姿勢系及び、AI衛星の実現に向けて研究開発を行う。

以上  
本件に関する問い合わせ先  
株式会社天の技  
Email: [contact@amanogi.space](mailto:contact@amanogi.space)  
URL: [www.amanogi.space/](http://www.amanogi.space/)